

# と も 綱

編集 神奈川県立釜利谷高等学校  
 代表 校長 佐久間 健  
 住所 横浜市金沢区釜利谷東 4-58-1  
 電話 045-785-1670  
 FAX 045-786-4188

## 神奈川の高校展2014

平成二十六年八月十日(日)横浜市立大学(金沢八景)にて「横浜南地区公私合同説明・相談会」が開催されました。当日は、全体で4350名の来場者があり、釜利谷高校の会場でも680名にパンフレットや資料を配付しました。会場では、全体説明と個別相談を行いました。

## 学校説明会

平成二十七年生向け第一回学校説明会を、八月二十一日(火)金沢公会堂にて開催しました。  
 218名ご来場いただき、20組ほどの中学生・保護者からの個別相談を受けました。次回は十月二十五日(土)に開催します。

## 釜利谷サポートチーム 社会のルール学習会

六月二十三日(月)能見台南小学校で、七月十日(木)に金沢小学校で、釜利谷サポートチームと演劇部の生徒による社会のルール学習会を行いました。万引きをテーマにした紙芝居で、小学二年生の児童たちに、やっていいこと・悪いことの区別を伝えました。



## 就職ガイダンス

三年生の就職希望者を対象とした就職ガイダンスを開催しました。  
 八月二十日(水)に九月から始まる就職試験に関する今後のスケジュールについての説明会がありました。二十六日(火)、二十八日(木)は就職面接対策として、外部講師による面接指導を一人ひとり受けました。生徒達は志望企業への職場見学を経て、現在は提出書類の作成、筆記試験対策、模擬面接等の準備を行っています。夏休みも連日登校して採用試験準備に取り組み、夢の実現を目指して頑張っています。

## 公開講座

平成二十六年七月五日(土)から全四回で開講した巻田洋平教諭(本校教諭)による公開講座「唐詩鑑賞入門」が地域の方20名にご参加いただき、皆さんの熱心な取り組みにも支えられ好評のうちに七月二十六日(土)をもちまして終了いたしました。  
 ありがとうございます。  
 九月からは『日本史を学び直そう』の講座を開講します。



## 部活動の活躍

### レスリング部

#### ◆国民体育大会 神奈川県予選会

- 男子50kg級 第一位 林 拓海 さん
- 男子66kg級 第三位 山田 浩己 さん
- 男子84kg級 第二位 内藤 玲央 さん
- 一年 第三位 千葉 裕矢 さん
- 男子96kg級 第三位 普天間光太 さん
- ◆全国高校総体
- 女子56kg級 第三位 奥水ゆめみ さん
- 三年 奥水ゆめみ さん

### ボウリング部

#### ◆オール神奈川ジュニアトーナメント

- 男子 第四位 蛭田 省吾 さん
- 女子 第四位 野中 千里 さん
- 女子 第六位 野中 千里 さん
- 一年 勝俣 菜咲 さん
- ◆JOCジュニアオリンピックカップ  
全日本高校ボウリング選手権大会
- 女子 第四位 野中 千里 さん



平成二十六年 九月一日(月)

# 一 一学期始業式

おはようございます、今日はいよいよ話を三つします。

## 一 部活動の活躍について

終業式で壮行会を開いて、全校生徒がエールで送ったレスリング部とボウリング部の選手が大会で好成績を残しました。

※まずはインターハイの報告

8月2日から5日にかけて、横須賀アリーナで行われたインターハイ・レスリング競技で、3年生の普天間くん・輿水さん・1年生の山田さんの三選手が活躍しました。輿水さんは怪我を克服して、見事第三位・銅メダルを獲得しました。普天間くん・山田さんも健闘しました。

インターハイにはサポートチームも補助役員として参加し、感動を共有しました。サポートチームは、5日間にわたりのべ150人が大会の裏方として協力してくれました。君たちのおかげで大会を成功させることが出来ました。感謝します。



地元神奈川県選手中も大活躍しました。団体戦で磯子工業はベスト8、個人戦でも銀一つ・銅四つと強化練習の結果ができました。選手たちとともに、サポートチームにとっても、われわれ教員にとってもインターハイは大きな良い思い出となりました。

長崎で行われる国体に、2年生の林君が出場します。健闘を祈ります。



※ボウリング部

7月に行われたJOCジュニアオリンピックカップに2年生の蛭田くん・1年生の野中さんが出場し、野中さんは4位に入賞しました。この大会では釜利谷初の人賞です。おめでとう、より高みを目指してください。

※この夏、合宿・強化練習・大会と、部活動に熱心に取り組んだ生徒が沢山います。まずは自分に克ち、強い精神力を持つこと。日々精進し、釜利谷生の模範となること。

## 二 「行事」について

一学期は研修旅行・釜高祭と行事が充実しています。行事に積極的に取り組んだ生徒は、成功体験を生かして勉強でも進路でも実績を残しています。30周年記念式典を中心として活躍した去年の3年生は進学でも就職でも希望通りの道に進むことが出来ます。「行事が生徒をつくる」・言葉どおりです。

一人ひとりが夢の実現のために、意欲的に取り組むこと。期待しています。

## 三 「クリエイティブスクール」について

8月26日の学校説明会、サポートチームありがとうございます。中学生・保護者から君たちのおもてなしぶりは好評でした。研究の打ち合わせなどで委員会の方たちにお会いしたり、他県の先生たちが見学にみえると、「学校きれいですね」「良い生徒さんですね」とお褒めのことはいただきます。釜利谷高校はクリエイティブスクールとしては高く評価されています。釜利谷の先生方・生徒たちは私の自慢です。PTAが一つになって学校を創造・クリエイティブしていきます。地域の方々に愛され、応援される学校になりましょう。

校長 佐久間 健

